

「アスリートとして、社員として」 ～入社1年間を振り返って～

2025.3.27

莉央さん、晟良さんが共同カイトックの社員になってから1年が経過しました。この1年を振り返っていかがでしたか？

莉央さん：フェンシングに関しては手術があったので思うように動けなかったのですが、フェンシングではない座学研修や施工現場や工場見学、営業同行で沢山の人の会えて、社員として経験させてもらえてありがたいと思っています。

晟良さん：会社に所属してフェンシングするのが初めてだったのですが、全日本選手権では社員のみなさんが応援に来てくださり、すごく力になりました。応援されることで「頑張れるな」と思えたのが良かったと思います。



東 莉央さん

東 晟良さん

吉田社長はこの1年を振り返ってどのような感想をお持ちですか？

吉田社長：フェンシングというワードを耳にすることが増えてきました。社員の中でも身近になったなと感じています。以前に社員旅行のイベントで直接交流した選手が、オリンピックで活躍した事が大きかったと思います。オリンピックのあとメダル持ってきてくれた時に、メダルを見た人たちがすごく喜んでくれたのを目の当たりにして、オリンピックパワーはすごいなと実感しました。会社としても、新聞やテレビに「共同カイトック」の名前が載る機会が増え、取引先の反応も良かったです。この1年は本当に満足していますし、社員の皆さんからの評判もすごく良いですよ。今後は、ぜひ二人そろってロサンゼルスオリンピックを目指してほしいですね。

社外の人に、共同カイツックについて何か聞かれましたか？

莉央さん：「どんな会社なの？」と聞かれることが多いです。「バスダクト」や「OAフロア」と伝えてもわからない人も多いので、「ビルの普段見えない部分で、電気の配線や設備を支えている会社」と説明しています。

晟良さん：私も同じで、できるだけ分かりやすく伝えるように「ビルの床下で電気を流す設備や、大きな容量の電気をビルに通す製品を作る会社」とか、イメージしやすいように伝えています。



東 莉央さん

共同カイツックの入社前の印象と、現在の印象に変化はありましたか？

莉央さん：以前の社員旅行のイベントで社員の皆さんとお会いしたときから、皆さんすごくフレンドリーでフェンシングを意欲的に楽しんで、明るい雰囲気だなんて感じていました。入社後も、その印象は変わらず自然体で接してくださって嬉しいです。

晟良さん：私も同じで、皆さんフェンシングにも興味を持ってくれて、一緒に応援してくれたり、話題にしてくれたり。会社全体に一体感があるなって、すごく感じました。

この1年間、いろんなことに挑戦してもらいましたが、印象に残った社員としての活動は何ですか？

晟良さん：印象に残ったのは工場見学です。実際に製品が作られている現場を見るのは初めてだったので、製品がどのように作られているかを知ることができました。

莉央さん：私は、前回行った OA フロアの新築工事現場です。工事中の現場に入った事はなかったので一番印象的でした。研修でも教えてもらいましたが、施工の簡単さに驚きました。

2人を採用した狙いと、入社してどんな点が良かったと感じますか？

吉田社長：フェンシングというマイナースポーツで頑張る2人を、純粋に応援したいという気持ちが大きく、売上や利益といった直接的なメリットを期待しての採用ではありませんでした。ただ、会社として注目を集めることは非常に意義があり、社会貢献の一環とも捉えています。それに社員全体的な一体感が醸成されてモチベーションが上がるとか、社内への良い効果があればいいと思います。まさか入社してオリンピックに出てメダル取るとは思ってなかったですね。



吉田 建社長

東 莉央さん

東 晟良さん

莉央さん、晟良さんはこれからやってみたい仕事は何かありますか？

晟良さん：先日営業同行した際に、フェンシングに関心がない人ともフェンシングの話をする機会がもてた事で、フェンシングの普及もできて、共同カイテックに入社してできたことなのでよかったなと思いました。

莉央さん：研修の項目にあったパソコンで図面を描くことに挑戦してみたいです。

2人の選手活動のことを聞かせてもらえますか？

莉央さん：2人とも同じスケジュールで動いていて、基本平日はずっと練習しています。朝は10時頃スタートの場合個人のアップとかもあるので9時頃から始めています。

晟良さん：毎日のレッスンは練習内容にもよりますが、全部終わって帰ると20:00過ぎで、晩ごはんのメニュー考えたり、食べて帰ったり、意外と庶民的です。

莉央さん：基本的に海外のシーズンが11月から始まって7月に終わります。6月にアジア選手権、7月に世界選手権があって、その間に日本のシーズンがあるので基本的にオフシーズンはないですね。

晟良さん：唯一試合がない8月だけです。



今、共同カイトックの中でもフェンシングの注目度が高まっていますが、莉央さん、晟良さんはどう感じますか？

晟良さん：まだ足りないと思いますが、オリンピックでメダルがとれたので以前より伝わるようになってきた気がして、嬉しい変化は感じています。

莉央さん：以前は競技やウェアのイメージが違って伝わっていましたが、フェンシングの認知度の変化が来ているなど感じます。

フェンシングの普及活動としての取組みは何かしていますか？

莉央さん、晟良さん：3年前から年に一度、子供向けにスマートフェンシングの体験指導を行っています。40～50人程度の子供たちに、初めてでも気軽にできるスマートフェンシングを用いてフェンシングの楽しさや、その体験を通してコミュニケーションやルールを守る大切さを学んでもらい体験してもらっています。普及活動は子供たちにフェンシングを知ってもらい始めてもらいたいのはもちろんなのですが、その活動は自分たちにも返ってくると思っているので積極的に参加したいと思っています。



東 晟良さん

当社の社員として2年目、4月以降の目標について、社員として、アスリートとして、それぞれお聞かせください！

莉央さん：この1年毎日トレーニングをして基礎体力はついたので、まず全日本選手権の出場権を獲得することが目標なので頑張らないと、と思っています。自分がピストに立って、皆さんに応援される感覚を味わいたいです。その時どう感じるのが楽しみです。

晟良さん：フェンシングでは、ワールドカップやグランプリ大会の個人戦でメダルを目指しています。6月のアジア選手権では金メダル、あと全日本で優勝が目標です。あとは、会社の説明をしっかりとできるようになることです。

莉央さん、晟良さんから伝えたいことはありますか？

晟良さん：まず社員の皆さんには、いつも応援ありがとうございますという気持ちと、入社するといつも温かく迎えてくださり、楽しく会話ができるのが嬉しいです。

莉央さん：試合に出られていませんが、いつも暖かく迎えてくれるのが本当に嬉しいです。その空気感が落ち着くというか、是非、試合をしているところを見てもらえると嬉しいです。

吉田社長から、莉央さん、晟良さんにメッセージをお願いします！

吉田社長：あっという間の1年でしたが、怪我なく目標を達成してもらいたいですね。アスリートとして結果を出すことが何より大事なので、そこをしっかりと追求してほしいと思います。来年度もよろしくをお願いします。



東 晟良さん

吉田 建社長

東 莉央さん